

# 平成 31 年度（令和元年度）事業報告

令和元年度においては、製材所の事情でカンナ屑不足と長雨による濡れたカンナ屑の使用等で堆肥づくりに約 1 ヶ月ほどの余分な手間がかかり、最悪な事態は避けることはできましたが売り上げに影響しました。

建物や機械類が古くなっているため維持管理に今年も多くを経費がかかっていますが、消費税の外税や一部事業所の適正料金化等によって、経営状態は良くなっており下記の活動を実施しました。

## 1 小学生への環境教育

- ・伊万里・立花・大坪・二里小学校の 3・4 年生（約 300 名）に対して、佐賀大学農学部の染谷教授の協力を受け、例年通り環境教育を実施しました。

## 2 生ごみ提供事業所の会員増強およびステーション増設活動

今年度は 0 増 1 減（閉店）となりました。市民の生ごみステーション増設活動は今年度も引き続き、あさひが丘団地でモデル事業を実施しています。

## 3 農産物直売所「風道」の生産農家の拡大と堆肥の販売増

- ・農家会員増を目指しましたが、思うような拡大に至りませんでした。
- ・堆肥の方は、品質向上により販売先が佐世保、武雄、有田、多久、佐賀大和等にも広がるなど知名度も高まっています。

## 4 菜の花プロジェクト活動の推進

・いまり菜の花の会の協力を受け、環境杯グランドゴルフ大会「生ごみを宝に！地域を菜の花色に」を開催しました。市内の全保育園に菜の花の苗とはちがめ堆肥を配布し 8 月に市民図書館で全園児の図画展を開催、菜種油は給食に活用して食育を市民の皆さんには普及啓発を行いました。

## 5 国際協力への貢献

JICA 紹介によるアルゼンチン、ドミニカ、スリランカ等 7 か国から 1 団体 10 名の視察研修を受け入れました。

## 6 各賞授賞

活動が広く認められ、次の通り授賞しました。

第 6 回食品産業もったいない大賞……………農林水産大臣賞

令和元年度地球温暖化防止活動……………環境大臣賞

九州ディスカバー農山漁村（むら）の宝……………九州農政局より選定